

ワイヤーカットの特性生かし ニッチな需要に応える

納期
相談
コスト
相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



メーカーが精度を保証する新鋭機「MP2400」

業務内容

金属を「切る、削る、彫る」加工で信頼を獲得

ワイヤーカット放電加工機をメインに、マシニングセンター（MC）や平面研削盤、形彫放電・細孔放電加工機などを装備。金属を「切る、削る、彫る」加工で、顧客の信頼を得ている。ワイヤーカット放電の特性であるバリが出にくい精密な切断に加え、金属の性質を熟知した加工方法や、専用治具製作による量産加工のコスト削減などを提案する。主な受注先は工業用刃物や鍵の金型部品、冷却機の内部部品、航空機部品、自動車制御装置の金型部品など量産品から、釣具、高級オーディオ筐体、店舗の装飾品、鉄道模型部品など幅広い。

強み

ワイヤーカットの技術力と
ノウハウの蓄積が基本

起業時から超硬物の加工で優位なワイヤーカット放電に特化し設備を導入。金属加工分野でも同業他社が競合しにくい精密かつ難易度の高いニッチな需要獲得に狙いを定め技術を磨いてきた。現在では各種放電加工機および周辺機器の拡充で複合的に加工領域を拡大。業容も金型加工から部品加工に移行する中、単品から量産、突然の加工依頼にも即座に応えられる体制を確立している。前職の営業経験を生かし顧客層を拡げる藤村将之社長だが、社業の強みは「先代から培ったワイヤーカットの技術力とノウハウの蓄積がベースにある」と語る。

設備増設

精度や評価保証に
厳しい姿勢をアピール

受注件数拡大や依頼内容の変化に伴い自社設備の増設、拡充を進めてきた。現状では中小企業庁の「ものづくり補助金」に採択され導入した三菱電機製「超高精度ワイヤー放電加工機・MP2400」をはじめ、ワイヤーカットが9台に増加。さらにMCと平面研削盤を各1台、特殊加工用に形彫放電・超高速細孔放電加工機を各1台、測定顕微鏡1台を保有する。中でもMP2400はメーカーが2μmの動的精度保証する新鋭機で常時22〜23℃に維持された恒温室で稼働中。精度や評価保証に厳しい姿勢をアピールする機種として注目される。



受注の多様化に設備拡充で応える

今後の展望

技術と経験を結集し、人の
役に立つ自社製品の開発を

顧客の要請に応える設備拡充は一定の成果を見た。今後は効率的な稼働に必要な人材確保および育成が課題。まずは技術習得を目指す派遣人材などの絞りを採用を進める。最近ではミクロン精度の問い合わせもあり、作業体制が整えば新たな顧客の獲得にも意欲的に取り組む考え。将来的にはこれまでの技術と経験を結集した自社オリジナル製品の開発を望む。藤村社長は「革新的加工法の開発にも取り組むことで、環境や新エネルギー関連で役に立つ材料や製品の開発も夢ではない。人の役に立つものを残したい」と語る。

COMPANY PROFILE

有限会社フジムラ

大阪
27

当社の歴史

昭和63年、先代の藤村昭がワイヤーカット放電加工機1台を有しプレス金型を手がける藤村製作所を創業。他社にない加工力を発揮し自動車関連などで顧客を獲得してきました。平成17年には藤村将之を代表に「フジムラ」を設立。加工領域を広げ市場ニーズに応えています。

金属加工全般でお困りのときにはお気軽にご相談下さい。お客様と一緒に最適な加工方法を考えます。

代表取締役 藤村 将之さん



■主な事業内容

ワイヤーカット放電加工を主とした金属製品の精密加工

■主な取引先（納入先）

工業用刃物メーカー、業務用冷却機部品メーカー、鍵メーカー、熱交換器メーカーほか

住所／〒574-0056
大東市新田中町
5-10
TEL／072-889-5503
FAX／072-889-5504
創業／昭和63年4月
設立／平成17年1月
資本金／300万円
従業員／3名

<http://fujimura-metal-art.com/>